



# 市議会だより

ホームページ



Facebook



X(エックス)



## 令和8年2月定例会が開かれました

### 令和8年度当初予算案を可決

2月定例会が令和8年2月19日から3月25日まで35日間の会期で開かれました。

市長から68件の議案が提出され、審議の結果、68件を原案のとおり決定しました。

また、議員から提出された議案は11件で、うち5件を可決しました。



### 本会議前の「市歌斉唱」

2月定例会初日の本会議前に「門司少女少女合唱団」の皆さんによる市歌の斉唱が行われました。

子どもや若者の皆さんが市議会の取組に興味を持つきっかけになればと考えています。

市歌斉唱の様子は動画をご覧ください。



市歌の楽譜や歌詞、音声データは市のホームページで公開しています。



#### 主な内容

1面	主権者教育の取組について、会派結成届 など
2面～6面	本会議での質疑 など
7面	本会議での質疑、議会改革協議会の中間報告、お知らせ など
8面	予算特別委員会での質疑項目、議案に対する賛否一覧

## 主権者教育の取組 ～北九州市議会紹介動画(アニメーション版)を制作しました～

本市議会は、議会基本条例に基づき、市民との協働による開かれた議会の実現を目指しています。

このたび、主権者教育の一環として、市議会の仕組みや議事堂の様子などについてアニメーションで分かりやすく解説する子ども向け動画を制作しました。

- 議会制度・役割の説明(選挙、二元代表制など)
- 市議会の仕組みの説明(本会議、常任委員会など)
- 議事堂内施設の紹介などの内容をご覧ください。

子どもたちだけでなく、幅広い世代の皆様にも市議会の取組に興味を持っていただきたいと考えています。

動画の視聴はこちらから(約10分)



### 令和8年2月1日付で会派結成届が提出されました。

新会派名	所属議員	旧会派名
北九州会	本田 一郎	北九州党
	奥村 直樹	
	伊崎 大義	
	小金丸 かずよし	まるまる戸畑と八幡会
小宮 良彦		

所属議員が5人以上の会派が結成されたことに伴い、以下の委員会等に北九州会の議員が所属することになりました。

委員会等の名称	新たに所属した議員
議会運営委員会	奥村 直樹
北九州空港機能強化・利用促進等調査特別委員会	伊崎 大義
議会改革協議会	奥村 直樹・小宮 良彦

# 本会議での質疑と答弁

定例会期間中の質疑と答弁の動画はこのQRコードからご覧いただけます。



この市議会だよりでは、本会議での質疑と答弁を要約したものを掲載しています。詳細な会議録は、6月上旬頃から、市立文書館、中央図書館、門司・小倉南・若松・八幡・八幡西・戸畑図書館、市議会事務局でご覧いただけます。また、市議会のホームページには、5月下旬頃に会議録(速報版)を掲載します。なお、市議会・市ホームページの会議録検索システムでの閲覧は、6月下旬からとなります。

## 代表質疑・一般質疑

2月26日から3月5日までに行われた代表質疑と一般質疑の一部を抜粋して掲載しています。掲載記事の順番は発言順で、掲載している時間(分)は答弁を含む時間です。

各議員のQRコードから、質疑と答弁の動画がご覧いただけます。

**物価高対策について**  
重点支援地方交付金を活用した同対策について、12月定例会で未定だった交付金の使途については付帯決議の議論を踏まえ、どのように対応したのか。また、くらし応援商品券は市民が優先して購入できるようにすべきである。

**財政・変革 局長等** 12月定例会での議論や市民から寄せられた声等の主旨を踏まえ、さまざまな選択肢の中から総合的に判断した。商品券については、抽選時に市民が優先購入できるように対応する。また、紙の商品券については地域に根差した各商店街等が販売し、ほぼ市民が購入しているのが実態と考える。

**人口問題について**  
新ビジョンの中で掲げた、将来推計人口を常に上回るイメージについて、国勢調査の結果を待つ段階においての見通しと、外国籍の方が本市で共生していくために考えている政策について尋ねる。

**政策局長** 国勢調査の結果等が未公表であり、見通しについて答えることは困難だが、新ビジョンに掲げる重点戦略に着実かつ総合的に取り組み、人口減少トレンドの反転に向け挑戦を続ける。外国籍の方との共生については、国の方針を踏まえ関係機関と連携し、日本人と外国人の声を丁寧に取り握し、ともに発展していく健全な共生社会実現に向け取り組む。

2月26日 代表質疑

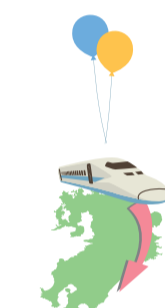
戸町武弘  
自民党・無所属の会  
90分

**令和8年度予算について**  
令和8年度予算編成に対する合計198項目の要望書を、公明党派から武内市長に提出した。物価高対策や子育て支援、地域共生社会の実現や平和な社会の実現、住まいと暮らしの安全等、私どもの要望をどのように受け止め、今回の予算案に反映したのか尋ねる。

**市長** 予算要望に掲げた「ウエルビーイングを実感できるまち」の実現や「持続可能な経済成長と環境の好循環」等の考えは私の考えと軌を一にするものと受け止め、予算編成に取組んだ。また、個別に必要な予算を計上した。「成長と幸福の好循環」の実現を着実に推進していきたい。

**東九州新幹線について**  
東九州新幹線鉄道建設促進期成会等は、基本計画路線から整備計画路線への格上げを要望しているが、本市が先頭に立って整備計画路線への格上げ運動をすべきではないか。また、福岡県独自の期成会設立を県に要望してはどうか。

**都市戦 略局長** 小倉―大分間の広域的な交通ネットワークの充実は、産業振興や交流人口拡大という観点からも意義が大きいと認識している。県東部を含めた関係自治体や経済団体等を束ねる期成会の設置も含め、推進体制の整備を図ることは重要と考える。県と緊密に連携しながら期成会の早期設立に向け取組んでいきたい。



**八幡東エリアの観光について**  
皿倉山や東田エリア、河内エリア等の観光資源について積極的に磨き上げを行い、これらを連携させることで八幡東エリアが主要な観光エリアになり得ると考える。本市としては、これらのエリアについて、今後の観光振興をどのように考えているのか、見解を伺う。

**都市ブランド 創造局長** 令和8年度は北九州空港地区での新ホテル開業等、「観光大都市への進化」に向けた力強い動きが予定されている。こうした好機を捉え、引き続き、八幡東エリアを含め市内にある観光資源のさらなる磨き上げや市内観光スポットの回遊性の向上に取組む。

**学校体育館のエアコン設置について**  
学校体育館へのエアコン設置の必要性はますます高まっており、設置に向けた取組を進めることが重要と考える。近年、猛暑がひどく、子どもたちの体育館での活動が制限される中、学校体育館へのエアコン設置を早急に進めることが必要と考えるが見解を伺う。

**教育長** まずは、令和8年度において実施設計が完了する3校にエアコン設置を行う。その成果をもとに、国における財源確保の状況を踏まえつつ、令和9年度からの4年間で毎年約50校ずつ設置を進め、全ての市立学校への設置を令和12年度までに完了させることを目指している。

**企業の人手不足・要資格取得支援を**  
本市には製造、建設、運輸、医療福祉等の産業が集積しているが人手不足が深刻である。これらの産業は資格への依存度が高く、資格があることで職に就きやすい。労働条件改善や人手不足解消のため、特に求められる資格取得やリスキリングの支援をしてはどうか。

**産業経済 局長** 令和8年度からは「潜在的求職者の掘り起こし」から「長期有償インターンシップ」を経た正規雇用まで一体的に支援する事業の創設を考えている。求職者には、丁寧なカウンセリングによる自己分析と企業ニーズを踏まえた資格取得等を行い、ミスマッチのない採用につなげる。

**物価高対策について**  
長引く物価高騰は食料品、光熱費、住宅関連費等広範囲にわたり、市民生活に深刻な影響を及ぼしている。物価上昇が続くことに伴う市民生活の逼迫状況をどう認識し、12月定例会での議論や付帯決議を踏まえ、どのような議論を尽くし今回の提案に至ったのか。

**市長** 物価高は依然として市民生活に大きな影響を与えており、暮らしを守る対策は喫緊かつ最重要の課題だと認識している。今回の提案は、12月定例会での議論等を踏まえ、限られた財源で早期に高い効果を発揮できる対策として、さまざまな選択肢の中から総合的に判断した。



**市議会を もっと身近に 議事堂見学**

市議会を身近に感じていただくため、議事堂の見学を受け付けています。選挙の仕組みを学ぶ講座も実施しています。

申込方法等は、ホームページをご確認ください。

**子育て相談と親育ちの場所の充実を**  
子育ての相談や大切なことを学ぶ子育て支援サロン「ぴあちえーれ」が令和7年度をもって閉所する。こどもまんなかcityを目指す本市として、子育てに悩む保護者が多い中、今後子育てについて気軽に相談できる親育ちの場所や機会を充実させるべきと考える。

**子ども 家庭局長** 「ぴあちえーれ」が担ってきた相談機能は、新たに創設した地域の子育て支援も担う保育マイスター制度等で引き継ぐ。また、子育てふれあい交流プラザでの親子子育て講演会の開催や、各区で行われる育児教室等の積極的な実施により、親育ちの場所や機会の充実に努める。

2月27日 代表質疑



高橋 都  
日本共産党

90分



物価高騰対策について

本市の支援策は、財源が重点支援  
地方交付金を活用した国頼みのも  
ので、かつ商品券等一部の限定さ  
れた市民への支援となっている。  
物価高騰が続く中、全ての家庭の  
生活費を下げる支援として、我が  
党がこれまで求めてきた下水道料  
金減免等を検討すべきと考える。

財政変革 下水道料金減免につ  
局長 ては、本市の同料金は  
県内で一番安いこと、システム改  
修等の準備期間で早期の実施が困  
難であること等、本市の実情に照  
らし選択しなかった。市民生活と  
地域経済をしっかりと下支えるた  
め、予算に盛り込んだ対策を迅  
速かつ着実に実施していきたい。

学校給食費無償化について

国の交付金で小学校の給食費は無  
償化されるが、中学校の給食費も  
約15億円で無償化できるのであ  
れば、国を待たず本市独自に実施す  
べきである。不登校やアレルギー  
で喫食しない児童生徒に対しても  
公平性の観点から、国の結果を待  
たずに支援を実施すべきである。

教育長

本市独自の中学校等の  
給食費無償化は、給食  
の質を確保しつつ、持続可能な制  
度とすることが必要で、国の財源  
措置がない中、現段階で直ちに実  
現することは難しいとの結論に  
至った。非喫食者への対応は、国  
から示される予定の考え方を踏ま  
え、支援の在り方を決定したい。

公文書管理制度及び情報公開制度の運用について

「旧門司駅遺構保存」についての方  
針決定」の決裁文書等が不存在  
だった。情報公開審査会の付帯意  
見「行政文書は行政が時の権力者  
の恣意により運営されていないか  
事後にチェックできるようにして  
おくことがこの制度の主旨である  
」を受け、今後の在り方を尋ねる。

総務市長

実際には方針決裁を令  
和6年12月に作成して  
おり、当該文書は情報公開請求に  
対し既に全部開示済みである。審  
査会の付帯意見を受け、職員文  
書事務の指針として「文書管理規  
則の解釈と運用」を新たに作成、  
各部署に周知し、全庁的な事務処  
理の標準化を推進する予定である。



観光大都市への進化について

本市は「すしの都北九州市」をフ  
ックに、豊かな食材と技が結集した  
多彩な食の魅力を発信する事業に  
ついて取組んでいるが、本市には  
すし以外にも魅力的な食材が数多  
く存在する。具体的に本市のどの  
ような食材や技を発信しようかと  
考えているのか見解を伺う。



本田一郎  
北九州会

90分



市長

令和8年度は市内産品  
の価値向上と地域経済  
の好循環を生む戦略的投資を  
行う。「すし」をフックに品目を限  
定せず、幅広く地元豊かな食材、  
匠の技、受け継がれてきた食文化  
を総合的に体感できる機会を創  
出し、本市ならではのガストロノ  
ミーの取組を国内外に発信したい。

「クリンタウン」プロジェクトの推進について

まち美化の観点から、市民が口頃  
利用するごみステーションについ  
ては、地域の方が管理している以  
上、より管理しやすい形を目指す  
べきと考える。折り畳み式容器の  
普及促進の取組内容と、今後期待  
される効果について見解を伺う。

市長

令和8年度予算案で  
は、補助額を昨年度の  
2・3倍、補助件数ベースで4倍  
となる件数確保し、より一層の  
普及を図りたい。さらに「折り畳  
み式容器フンストップ窓口」の設  
置も盛り込んだ。これにより、容  
器の検討から購入、配送までの負  
担軽減につなげ、一括購入によるス  
ケールメリットにも期待している。

交通空白地域における公共交通の在り方について

高齢化に伴う免許返納や運転手不  
足により公共交通路線が縮小し、  
交通空白の問題が深刻化してい  
る。外出による健康寿命の増進や  
孤立・孤独防止のためにも、誰も  
が安心して移動できる公共交通を  
確保すべきである。どのような取  
組を進めるのか見解を伺う。

都市戦

本市では市内の公共交  
通を持続可能なものと  
するため、令和7年度から交通事  
業者と連携して北九州モデルに取  
組んでいる。この第一弾として、運  
転手確保の強化と新たな移動サー  
ビスの実証に取組む。さらに、夜間  
の移動手段不足に対しても需要特  
性や運行上の課題を検証する。



2月27日 一般質疑



小宮良彦  
北九州会

30分



戸畑駅周辺エリアのバリアフリー環境について

戸畑駅改札前、ウエルとばた正面  
エスカレーター等は、撤去されれ  
ば市民生活への深刻な影響が懸念  
される。イベントや急な受診等、  
エスカレーターの利便性は高く、  
移動を支える重要なインフラであ  
る。撤去せず存続させてほしい。

都市整

戸畑駅改札前エスカ  
レーターについては、  
令和5年9月の利用状況調査後、  
状況に変化が生じている。このた  
め、戸畑駅周辺を一体として捉え  
令和8年度に改めて利用状況調査  
を実施する予定である。この結果  
を再度検証したうえで、地元関係  
者に説明を行うなど、真摯かつ丁  
寧な対応に努めていく。



小針かずよし  
北九州会

30分



北九州市の更なるブランド力向上に向けたチャレンジ

「北九州」の都市ブランドを一層  
高めるため、小倉競馬場を北九州  
競馬場に改名する取組を提案す  
る。観光資源としての魅力向上  
地域ブランド力と本市の知名度向  
上のため、行政、市民、経済界が  
三位一体で連携し、戦略的に取組  
を展開してはどうか尋ねる。

市長等

小倉競馬場の名称変更  
は、慎重な検討を要す  
ると推察される。まずは提案が  
あったことをJRAに伝えたい。  
行政が方向性を示し、経済界が価  
値を創出し、市民がまちの魅力  
を体現するという三者の連携が、本  
市の都市ブランドを戦略的かつ継  
続的に高める鍵となると考える。

2月27日 一般質疑



伊藤淳一  
日本共産党

30分



独立行政法人北九州市立病院機構の経営悪化について

医療センターや八幡病院を有する  
同機構は、年々赤字が拡大してい  
る。令和6年度決算からは債務超  
過に陥り、自己資金も限界に近付  
いている。設立者としての本市の  
財政支援強化が求められている。  
追加支援の判断基準はあるのか。

保健福

同機構の両病院の運営  
社局長 は、市からの運営費負  
担金を活用しつつ自立的に行うこ  
とが基本であり、現在、同機構自  
ら経営改善に取組んでいるところ  
である。現時点において、市から  
の負担は適切な規模で予算計上し  
ていると考えているが、変動する  
病院収支の状況に応じ、市の負担  
が適切に随時検証していきたい。

3月2日 一般質疑



金子秀一  
公明党

30分



小倉南区のまちづくりについて

曾根中学校前交差点は、曾根中  
学校、曾根小学校の通学路で、多  
くの児童生徒がこの交差点を利用  
している。登下校時には地域の方  
が安全対策に協力しているが、さ  
らなる安全対策として、歩車分離  
式信号機の導入を求める声がある。  
積極的に取組んでほしいと考える。

都市整

同交差点の安全対策に  
備局長 ついて、歩車分離式信  
号機を含め、現地の状況や学校  
関係者、地域の意見を丁寧に把握  
し、その内容を警察へ適切に伝え  
るなど、交通管理者の判断を尊重  
しつつ連携を図っていく。児童生  
徒の安全確保に向け、関係機関等  
と協力しながら取組んでいく。



岡本義之  
公明党

30分



子ども医療費支給事業のさらなる拡充について

多くの政令市が制度拡充を実施し  
てきており、名古屋市やさいたま  
市に続き、今後、相模原市、横浜  
川崎市、仙台市等が全ての対象者  
の自己負担額無償化を予定してい  
る。本市としても、市民負担額軽  
減のための拡充策を打ち出すよい  
機会だと思いが、見解を伺う。

子ども

子ども医療費のさらな  
家庭局長 る拡充についてはさま  
ざまな論点があり、総合的に検討  
する必要がある。全庁的に研究を  
深め、子どもたちの健やかな成長  
を支援するため、新ビジョンに掲  
げる「安心して生み育てることの  
できる環境の整備」「安心なまち  
」の実現に向け取組んでいきたい。

開かれた議会を目指し、情報発信しています！  
最新の市議会情報をお届けしていますので  
SNSのフォローをお願いします!!

ホームページ

Facebook

X(エックス)

**山崎英樹**  
市民とともに北九州 30分



**観光振興について**  
オープントップパスは、景観そのものを体験価値として提供できる点で、観光振興プランが掲げる「訪れる人の満足度向上」「周遊性の強化」とも親和性が高いと考える。この新たな観光資源をどのように生かし展開していくか尋ねる。

**市長** オープントップパスを市内外への誘客プロモーションにおける新たな目玉コンテンツとして積極的にPRする。そのほか、市内各所の観光資源や「すしの都北九州市」等、他の施策と組み合わせられた周遊プログラムを検討するなどにより、「北九州市ならではの観光の楽しみ方」を創出していきたいと考えている。

**鷹木研一郎**  
自民党・無所属の会 30分



**高齢社会におけるペットの課題について**  
高齢化が進み、独り暮らしの高齢者も増えてきている。そうした中、犬や猫等のペットは家族同然として日々の生活に潤いを与えてくれる。一方、年齢による認知の低下や病気等で飼育が困難となる場合がある。対策として、動物愛護と社会福祉の連携が必要である。

**保健福祉局長** 動物愛護と福祉部門の連携は重要と考える。飼い主の皆様には、家族の一員であるペットがいざという時に取り残されることがないように、日頃から周囲の方々とも話し合い、準備してもらえよう。啓発や情報発信を行い、人と動物が共生する社会の実現に向け取り組んでいきたい。

**奥村直樹**  
北九州会 30分



**次の10年・地域づくり先行モデルプロジェクトについて**  
本事業では、次の10年を見据えた地域コミュニティの形を先導する地区を選定し、事務負担の最適化や多世代協働のモデル事業を行うとある。この事業では、より運営の困難な地域をモデル地区に選定して機能しなければ、全市展開は難しいと考えるが見解を伺う。

**総務市長** 選定にあたっては本市の地域特性を踏まえ、高齢化が進む地区、子育て世代が集まる地区、商業地区といった複数のパターンを想定したい。実際の事業実施にあたっては、モデル地区にお住まいの方の意向や希望を十分に踏まえながら、必要な施策を決定し、展開していきたい。


**泉日出夫**  
市民とともに北九州 30分



**自転車通行の規制強化における周知について**  
4月1日から16歳以上を対象に、自転車の交通違反へ青切符が導入され反則金が科される。本市は自転車通行ルールの市民周知をどう認識しているのか。特に、高齢者や子ども、通勤通学で日常的に自転車を利用する方への周知は十分か、市の見解を伺う。

**総務市長** 本市では警察との連携によるポスター掲示、交通公園利用者への園職員による指導、交通安全教室の開催等、さまざまな自転車通行ルールの周知・啓発に取り組んできたところであるが、引き続き、社会状況や制度変更等に柔軟に対応していく必要があると考えている。

**3月3日 一般質疑**  
**村上さとこ**  
緑の風 30分



**すべての市民に届く上下水道料金の減免を**  
物価高騰下で支援が届かない市民の不安と負担は大きい。誰も置き去りにせず、申請不要で広く届き、支援漏れが少ない上下水道料金減免はできないか。重点支援地方交付金の残額約7億円が活用でき、他都市で実績もある。家計を直接下支えする有効な支援である。

**市長** 生活者支援対策は議会での議論等を踏まえ、限られた財源で早期に高い効果を発揮できると考え、上下水道料金減免を含むさまざまな選択肢の中から総合的に判断した。市民生活と地域経済を下支えし、物価高を乗り越える地域社会づくりに向け、対策を迅速かつ着実に実施する。

**西田 一**  
自民党・無所属の会 60分



**市立学校給食の完全無償化を!!**  
議会でも要望してきた学校給食の無償化について、国の方針に基づき、令和8年度からの小学校の無償化予算が計上されたが、中学校も無償化すべきである。併せて食物アレルギーや不登校で給食を食べられないなど、無償化の恩恵がない児童生徒への対応も求める。

**教育長** 中学校について、本市独自に財源を確保するとなれば、他の教育予算に影響を及ぼさないという論点に留意が必要である。アレルギー等で給食を食べられない子どもについては、今後国から考え方が示されるといふことであるが、何らかの対応が求められると考えている。


**森結実子**  
市民とともに北九州 30分



**公文書について**  
門司港地域複合公共施設整備事業の決裁文書等の不存在に対し、審査会が「社会通念上信用しがたい」と厳しく答申した件で、意思決定過程の記録がない現状の認識、公文書管理法の趣旨に背く可能性、再発防止に向けた文書管理条例制定の必要性について尋ねる。

**都市戦略局長等** 方針決裁を令和6年に作成しており、決裁文書は存在する。情報開示請求に応じて公開し、適切に対応している。公文書管理法に背くという指摘は当たらないと考える。条例制定によらず、新たに作成する指針を活用した適切な公文書管理を行い、透明性の高い市政運営に努める。

**吉村太志**  
自民党・無所属の会 30分



**安全安心なまちづくりについて**  
市内で火災被害が続いており、被害拡大防止のため、市民の防火意識向上が急務と感ずる。火災予防対策と地域防災力向上に向けた、令和8年度における市民への啓発と、住民間の協力体制づくりや地域連携の取組について尋ねる。

**消防局長** 啓発は市民意識や火災の傾向等の変化を捉え、効果的な内容や手法にアップデートし、市民一人ひとりの防火意識が向上するよう取り組む。災害に強い「安らぐまち」実現に向け、住民間の協力体制や地域連携が育まれるよう、市民防災会を通じて核となるリーダー育成に取り組む。地域の防火・防災力向上を図る。

**永井 佑**  
日本共産党 30分



**交通費の子ども割引について**  
通学等に必要交通費の保護者負担軽減のため、市内に住む18歳までの子どもの公共交通機関利用料金を、「子ども料金」に据え置くべきである。そのために市内のバス、モノレール、鉄道事業者と協定を結び、差額分を市が負担してはどうかと考えるが、見解を伺う。

**子ども家庭局長** 公共交通機関の運賃は国の認可が必要であり、各交通事業者が経営状況等を踏まえ設定するため、協定を結び差額運賃を本市が負担することは考えていない。子育て世代の経済的負担軽減は重要であり、「子どもまんなかCity」の実現に向けた取組を着実に推進していきたい。

**小宮けい子**  
市民とともに北九州 30分



**門司港地域複合公共施設の「室内の空気環境」について**  
化学物質過敏症や香害、建材の揮発性有機化合物等により、頭痛や倦怠感等の体調不良を訴える方がいる。そこで、誰もが安心して使える公共施設づくりの観点から、可能な限り低放散性製品を選定し、揮発性有機化合物の総量低減を図ることが必要と考える。

**都市戦略局長** 本市では公共施設の整備にあたり、市民が安心して施設を利用できるよう、設計段階から施工段階において、揮発性有機化合物の発生を抑制する取組を行っている。門司港地域複合公共施設も同様に、工事完了後は空気環境の安全性を確認した上で供用開始を行う予定である。

**井上純子**  
変革と成長 30分



**自治会等の不正会計処理の防止について**  
町内会加入率が6割弱となるほど地域存続が厳しい。その状況で自治会等の運営費を住民の合意なく、市議の政治資金パーティー券購入に充てるなど不正支出事例が発生している。会計処理デジタル化で負担軽減・透明化を図り、信頼される地域組織へ推し進めるべき。

**総務市長** 町内会等の地域団体がより地域に開かれ、多くの市民が活動に共感して参加するプラットフォームとなるよう、行政としても会計のデジタル化を含め、先行事例の紹介や団体同士の情報交換の場の設定、専門家の派遣等、今後とも個々の状況に応じて丁寧な支援を行っていきたい。

**子ども家庭局長**  
地域限定保育士の本市への就職について、保育実技講習会の中で見学実習も設定されているので、このような機会を通じて市内の保育所等の魅力を伝えていきたい。研修等を行い、潜在保育士の方に復帰していただき、子育ての現場で活躍していただくよう働きかけていきたい。

**地域限定保育士の活躍に期待する!!**  
保育所等、法定の子育て施設に不可欠な国家資格を持つ保育士が不足している。今議会に関係条例を改正し、新たに福岡県による「地域限定保育士」の活躍が可能となる。保育所等で勤務していない潜在保育士」と合わせ、現場で活躍していただくことを期待する。

**子ども家庭局長** 地域限定保育士の本市への就職について、保育実技講習会の中で見学実習も設定されているので、このような機会を通じて市内の保育所等の魅力を伝えていきたい。研修等を行い、潜在保育士の方に復帰していただき、子育ての現場で活躍していただくよう働きかけていきたい。

